

キッズみんなの日記

6月号

★理由を述べ、気持ちや感想を強調する★

自転車

例年より早い梅雨入りが告げられました。青空がすでに恋しいですね。さて、先月は優秀作品の候補が非常に多く、掲載できたのは、候補の中からわずか半分。昨年取り組んだ作文のテクニクを存分に使い、低学年から高学年まで、メキメキと腕を上げていきます！今回掲載しきれなかったみなさんも、また素敵な日記を待っていますので、張り切って取り組んでください。

優秀作品紹介

★動作や動きを生き生きと★

サッカーのれんしゅうじあい

今日は、サッカーのれんしゅうじあいがありました。一しあいめ、ともだちからパスをもらって左にドリブルしてグラウンドの真ん中のちよっとすすんだところでシュートをうったら、ボールがあっちいたり、こっちいたりしてゴールをとれました。

ぼくは、点をとれて、とてもうれしかったです。つぎのしあいでも点をとれるようにがんばります。

(小二・YS君)



パスをもらってから、シュートが決まるまでのY君の動作やボールの動きを生き生きと表現できましたね。さすがが二年生、カタカナや漢字の使い方も上手にできました。ゴールを決めるY君の姿、格好良いだろうな！



多くの自転車は、とても小さかったです。友達の自転車がとても大きかったですので、ぼくもほしくなりました。お父さんに、「自転車を買って下さい。」とお願いました。すると、お父さんは、「小さくなったから、いいよ。」と言いました。やった、とぼくは心の中でさげんでました。

それから、すぐに自転車屋に行きました。行っても、自分の気にいる自転車がなく、また何けんか行きました。やっと気にいる自転車を、お父さんに買ってもらいました。すごくうれしかったです。

(小三・HH君)

新しい自転車が欲しくなった「きっかけ・理由」を上手に説明しましたね。お父さんとの会話も文章を生き生きとさせています。理由や過程をしっかりと説明するところでH君の「うれしさ」が強調され、読み手にもとてもよく伝わってきます。

はじめてのおしごと

学校が早くおわって、ママと文佳と、デイサービスという、おじいちゃんおばあちゃんが集まって楽しく遊んだり、お茶したりするところに行きました。

私は、ばばさんというおじいちゃんのおそばに行きました。先生みたいな人が、



「これが小学生の手ですよ。」と私の手をばばさんの手の上におきました。ばばさんは、ニコニコとしてうれしそうでした。パパのおじいちゃんに、にているなーと思いました。ボール遊びをしたり、写真をとったりしました。一時間位しかいれませんでした。最後まで、ばばさんの手をにぎっていました。ちがうおじいちゃんやおばあちゃんにも、役に立てたと思います。すごく楽しかったです。

(小四・Hさん)

ばばさんの優しそうな笑顔が目につきました。ふようです。「出来事の全体像」→「印象に残った出来事」→「感想」と段落構成も見事です。是非、見習いたいですね。Hちゃんの優しさとおじいちゃんのお顔が印象的な心温まる文章でした。

HAYABUSA

五月十四日、父と弟と「HAYABUSA」BACK TO THE EARTH」という映画をみました。

この映画の内容は、二〇〇三年五月九日に宇宙科学研究所(ISRO)現在の宇宙航空研究開発機構)によって打ち上げられた「はやぶさ」の七年間



におよぶ道のりをえがいたものです。なんと「はやぶさ」はアメリカ航空宇宙局でもなしとげられなかった偉業を達成しました。その偉業とは、月以外の天体の

表面からサンプル(星のかけら)を持ち帰り、ふたたび地球に帰ってくるということです。こんな偉業をなしとげた「はやぶさ」を作った日本はすごいと思います。

(小五・NT君)

映画の内容をとてもわかりやすく、上手にまとめましたね。HAYABUSAが偉業を成し遂げたといわれる理由をいくつか挙げたことで、T君の「日本はすごい！」という意見には説得力があります。見習いたいテクニクですね。

効果的に使う「カギカッコ」を

三日間の中一日

今日は、横浜コスモワールドに行ってきました。三連休の中でひまだったので、お母さんと行きました。

まず始めに、回るバイクンギンギンに乗りました。その乗り物は、とても高いところまで上がります。それに乗ると、おながかヒューと、なります。風が気持ちよかったです。

次に、ダイビングコースター「パニッシュ」という乗り物に乗りました。その乗り物はジェットコースターで一番人気のある物でした。でも、天気がよくもりだったので、三十分ほどしかならびませんでした。その乗り物は、何回も落ちたり、登ったりが続きものでした。

「ガタガタガタガター。」という音とともに、ぐんぐん登っていきました。私は、もう、



「ギヤー。」
とさげんでいました。そして、
「ビューン。」
いつきに坂を下りました。のどがかれ
るほどさげび続けました。そして、ま
た、
「ビューン。」
と落ちました。気ぜつしそうでした。
そして、本当の最後に、
「ビューーン。」
一番長い下り坂でした。私は、
「ギヤーー。」

とさげびました。おりた時は、のどが
とてもいたかったです。でも、ひさし
ぶりに、ニックになったので楽しかった
です。
お化け屋しきには、こわくてこわく
て、入れなかつたので、今度勇気があ
れば入りたいです。今度は家族全員
でいけたらいいと思います。
(小五・SRさん)

思わず一緒に叫び出しそうになり
ました。「会話文」や「擬声語」を効果的
に使い、ジェットコースターのスピード感と
Rちゃんの興奮した様子を上手に表現し
ましたね。一番印象的だった乗り物に話
題を絞っているところもお見事です。

初めての組みたいそう
学校の運動会で五年生は、
初めての組みたいそう。
今日が最後の練習です。
最初、一人技から、二人、三人、四
人、とどんどん人数が増えていきま
す。そして、一番むずかしい「ピラミ
ッド」です。ぼくは、一番上なので、す



ごくきんちようします。練習でもな
かなかうまくいかず、とても大変で
した。
でも、今日、やっとかんせいしまし
た。すごくうれしかったです。最後の
大技は、六年生が中心で「十人タワ
ー」というすごく難しい技です。ぼく
も、来年は、その一番上になりたいで
す。本番もがんばります。

引越しの手伝い
「ピー、ピー。」
と音がして、大きな車が来ました。
今日は、友達の家で引越しがありま
した。だから、私は手伝いに行きま
した。私の役目は、小さい子のお世話
です。

みんな、シルバニアヤリカちゃんな
どで遊びました。最初は、静かだった
女の子も、だんだんなれてくると、走
ったり、三段ベッドに乗ったりしてい
たので、私は、落ちたりしないかドキド
キしていました。
私と同じ年の子と遊ぶと、きをつか
われないけど、小さい子と遊ぶとちょ
と疲れてしまいました。でも、けがも
なく過ごせたのでよかったです。

私も、ピラミッド成功おめでとう！本番
も上手に披露できると良いですね！組み
体操の技の説明もわかりやすく、難しい
技にはカギカッコを使って上手に強調して
います。最後の一文は、来年の目標でま
とめ、前向きで気持ちの良い日記でした。



(小六・SNさん)

トラックのバックする警告音で始まる印象的
な書き出しですね。何の音だろう？と読み手
をぐっと引きつけます。優しいNちゃんが、小さ
なこともたちの行動にハラハラする場面は、とて
も微笑ましく、小さな子への気遣いができるよ
うになったNちゃんの成長を感じさせます。N
ちゃん、お手伝いおつかれさまでした！

馬の重大事故

マイネルゴージュという馬がむねと
腹を大ケガしてしまいました。
それは、乗馬が終わってからです。
ぼくは、馬の体を洗いました。洗い終
わって元の小屋に馬をもどそうとし
たときのことです。

マイネルゴージュは、まだ体を洗って
いました。マイネルゴージュは、あわが
きらいです。馬体を洗うシャンプーが
下に流れて、マイネルゴージュは足を
すべらせられました。マイネルゴージュ
はあばれたし、自分の小屋にむりや
りもどろうとしました。でも、さく
りもどらなかったので入れなかつたのです。そ
して、さくのでっぱりにおねがささっ
てしまいました。
ぼくは、それを見て
「かわいそう。ていうか、こわっ。」
と言いました。先ばいは、
「こんなにあばれるのははじめて。」
と言っていました。血がたくさん出て
いたので、二度とこんなことにならな
いようにと思いました。

痛ましい事故を目の当たりにして、M
君もさぞ驚いたことでしょうね。マイネル
ゴージュの性格や事故にいたるまでの出来

(小六・YM君)

●このコーナーで紹介した作品は、梨香ゼミで購入し
「梨香ゼミ文庫」として貸出を行っています。ご利用
の際は、メールまたは直接お申し出ください。

伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

じごくのそうばえ

童心社 田島 征彦 作

第1回日本絵本賞に輝いた絵本です。
ユーモラスなストーリーも人気！

★★中学年★★

魔女がいっぱい

評論社

07年・ダール 作

この世の中には、本当に魔女がいっぱいいる。
ある日、魔女の集会をのぞき見たぼくは、魔女につかまり…。

★★★高学年★★★

太陽の戦士

岩波少年文庫

0-ズ マリ-サクリ 作

片腕のきかないドレムは、愛犬や親友に支えられ、
一人前の戦士になるためのきびしい訓練に立ち向かう。



●先月、「きまぐれコーナー」を読み、ゴ
ールデンウィーク中に塾生とともに読書
に取り組んで下さった保護者の方が多く
いらつしやうたことが、みなさんの日記
からわかり嬉しくなりました。
私自身も宣言通り、息子達と読書を楽し
みました。息子達も私もついクセになり、
一冊読み終えると、次の本が欲しくなり、
本屋に何度か足を運ぶほどでした。一年
生になったばかりの長男は、学校の図書
室で本を選ぶことを楽しみにするよう
になりました。また、毎晩短い日本昔話を
一話ずつ読みながら、三人で大笑いして
います。本から遠ざかっていた我が子た
ちにとっては、大きな変化でした。
みなさんのご家庭ではいかがでしたか。

事をわかりやすく説明しています。馬に
対する想いや驚きなど、セリフを使って生
き生きと表現できました。